

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【公開番号】特開2006-164950(P2006-164950A)

【公開日】平成18年6月22日 (2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2005-284859(P2005-284859)

【国際特許分類】

H 0 1 B 1/22 (2006.01)

C 0 9 D 11/10 (2006.01)

G 0 1 N 27/02 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 1/22 Z

C 0 9 D 11/10

G 0 1 N 27/02 D

G 0 1 N 37/00 1 0 1

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年10月30日 (2012.10.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 4】

電極および導電性トレースが、導電性インクを用いて、ラミネート層に印刷された。さらに、導電性接触パッドが、同じ導電性インクを用いて、絶縁基板に印刷された。導電性トレース、導電性接触パッド、および電極を印刷するのに用いられた導電性インクは、以下の質量パーセントの組成を有していた。

質量比が 1 : 9 の白金および炭素を含有する超微粉末（例えば、イギリス国 S G 8 6 N T、サウス・ケンブリッジシャー（South Cambridgeshire）、メルドレス（Meldreth）、ノース・エンド（North End）、ユニット 1 A ロング・バーン（Unit 1A Long Barn）のエム・シー・エー・サービシス（MCA Services）から入手可能な M C A 2 0 V 白金炭素（platinized carbon））を 1 8 . 5 %、

ポリビスフェノール A - コ - エピクロロヒドリン - グリシジル・エンドキャップポリマー（poly(bisphenol A-co-epichlorohydrin)-glycidyl end capped polymer：例えば、オランダ国 3 1 9 0 A N ホーフリート・ライト（Hoogvliet Rt）ピーオーボックス 6 0 6 のレゾリューション・ユアロップ・ビー・ブイ（Resolution Europe BV）、レゾリューション・エンハンスト・プロダクツ（Resolution Enhanced Products）から入手可能なエピコート 1 0 5 5（E p i k o t e（商標）1 0 5 5））を 1 9 . 0 %、および、

メチルカルビトール（ジエチレングリコールモノメチルエーテル）溶剤（ベルギー国 2 6 5 0 エデゲム（Edegem）、プリンスボーデビーンラーン（Prins Boudewijnlaan）4 1 のダウ・ベネルクス・ビー・ブイ（Dow Benelux B. V.）から入手された。）を 6 2 . 5 %

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 4 5 】

すぐ上の詳細な導電性インクの組成は、ポリスチレン製のラミネート層およびポリスチレン製の絶縁基板に用いるのに（以下に記載されるように）とりわけ有益である。しかし、大まかに言って、導電性インクの組成は、超微粉末のポリマーに対する質量比が実質的に 3 : 1 から実質的に 1 : 3 までの範囲内に保たれる限り変えられてよい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 4 】

この発明の具体的な実施態様は以下の通りである。

（ 1 ）マイクロ流体の分析システムの製造に用いるための可融性の導電性インクであって、

白金および炭素を含有する超微粉末と、

ポリビスフェノール A - コ - エピクロロヒドリン - グリシジル・エンドキャップポリマー（poly(bisphenol A-co-epichlorohydrin)-glycidyl end capped polymer）と、
溶剤と、を含み、

前記超微粉末の前記ポリビスフェノール A - コ - エピクロロヒドリン - グリシジル・エンドキャップポリマーに対する比率が、 3 : 1 から 1 : 3 までの範囲にある、
可融性の導電性インク。

（ 2 ）前記実施態様（ 1 ）記載の可融性の導電性インクであって、

前記超微粉末が、質量比が実質的に 1 : 9 の白金および炭素を含有する、
可融性の導電性インク。

（ 3 ）前記実施態様（ 1 ）記載の可融性の導電性インクであって、

前記溶剤が、メチルカルビトール（ジエチレングリコールモノメチルエーテル）（Methyl Carbitol (Diethylene Glycol Monomethyl Ether)）である、
可融性の導電性インク。

（ 4 ）前記実施態様（ 1 ）記載の可融性の導電性インクであって、

前記可融性の導電性インクが、

質量比が 1 : 9 の白金および炭素を含有する超微粉末を 1 8 . 5 % と、

ポリビスフェノール A - コ - エピクロロヒドリン - グリシジル・エンドキャップポリマーを 1 9 . 0 % と、

メチルカルビトール（ジエチレングリコールモノメチルエーテル）溶剤を 6 2 . 5 % と、
の質量百分率の組成を有する、可融性の導電性インク。